

京都・奈良・和歌山を結ぶ「^{けい な わ}京奈和自転車道」が開通 ～自転車の旅による地域活性化や観光振興の実現を目指す～

2021年4月、京都嵐山、奈良、和歌山港を結ぶ総延長約180kmの「京奈和自転車道」がつなぎ、より快適にサイクリングできる環境が整った。奈良県では、「世界遺産周遊サイクルルート」の整備や「サイクリストにやさしい駐車場」などのサービス提供、サイクリングマップの発行など、自転車による広域周遊観光の促進、自転車利用者と地域との交流による地域活性化や観光振興の実現を目指している。

1. 京奈和自転車道がつなぎ、サイクリングを楽しむ機会が拡大

京奈和自転車道は、京都嵐山から奈良県内を通り和歌山港に至る総延長約180kmの広域周遊自転車道で、奈良県・京都府・和歌山県が連携して構想を進めてきた。奈良県内では奈良市から五條市まで、佐保川や葛城川、吉野川沿いを通して県内を縦断する約75kmのルートが該当。平城宮跡歴史公園や薬師寺、葛城山や美しい田園風景などを眺めることができる。

奈良県は2015年度から自転車道の整備を行い、路面には青色のラインを表示して、案内や注意喚起のサインを設置。サイクリストがわかりやすく安全に走れるよう考慮されている。

さらに、2021年度からは京奈和自転車道を軸に、「古都奈良エリア」「法隆寺エリア」「飛鳥・藤原エリア」の世界遺産などを巡る「世界遺産周遊サイクルルート」の案内サイン整備にも着手し、サイクリストにとってさらに魅力的なルートが完成する予定だ。

2. サイクリストにやさしいコンテンツを整備し、遠方からの来訪者も楽しめるサービスを提供

寺社や歴史的資産が点在し、日本の原風景が広がる奈良県は、サイクリングを楽しむことに適している。その魅力を存分に味わってほしいと奈良県ではおもてなしサービスを充実させ、サイクリングをサポートしている。

今年4月よりスタートした「サイクリストにやさしい駐車場」もその一つで、県は認定制度を始め、6月22日に第1弾認定4施設を公開した。

民間施設の駐車場が無料で利用できることに加え、飲食やシャワーなどの設備が整備されているため、自転車を車に載せて遠方から訪れた場合でも駐車場を拠点にサイクリングを楽しめる。

また、トイレ、駐輪スペースの確保、空気入れの貸出などを無料で提供する「自転車の休憩所」や、自転車の屋内保管や自転車搬送サービス（宿泊者の自転車の事前受取や滞在後の発送）が可能な「サイクリストにやさしい宿」にも力を入れる。中上級者だけでなく、サイクリングをしたことがないという方も無理なく始められるようコンテンツを充実させている。

3. 観光地情報や県内の約40ルートが掲載されたサイクリングマップを発行

奈良県は、道の駅やコンビニなどの県内の休憩所（「自転車の休憩所」）を紹介したサイクリングマップを発行した。同自転車道以外にも自転車で楽しめる県内の約40ルートを掲載しており、爽快感にサイクリングができるよう案内されている。

マップには、奈良県自転車条例や「サイクリストにやさしい駐車場」「サイクリストにやさしい宿」の他、自転車の故障などトラブルに対応できる自転車店が一覧できるホームページのURLも紹介している。マップは県ホームページ（<http://www.pref.nara.jp/58238.htm>）から無料で手に入れられる。

4. 観光回復が期待されるサイクルツーリズムで奈良県の地域活性化や観光振興を目指す

ウィズコロナ下における観光として、サイクルツーリズムなど屋外を中心としたスポーツやアク

ティビティが注目されている。サイクルツーリズムとは、「サイクリング・自転車」と「観光・旅行」を組み合わせたもので、自転車で移動しながら、地域の自然や地元の人々との交流、食事や温泉といったあらゆる観光資源を楽しむことを目的としている。

自転車を活用することで利用者の健康増進に役立つほか、二酸化炭素を排出しないため環境に優しい。自動車から自転車へと移動手段が代わることで渋滞緩和につながるといった効果もある。屋外で密を回避できるため、ウィズコロナ下でも観

光回復をけん引する役割が期待されている。

奈良県の担当課でも「自転車だからこそ気づく新たな奈良の魅力を楽しんでもらいたい」と、サイクルツーリズムによる地域活性化や観光振興の実現を目指している。（八木陽子）

【お問い合わせ先】

奈良県県土マネジメント部道路建設課

自転車・交通環境係

TEL (0742) 27-8667 (内線 4141、4167)



資料：京奈和自転車道（奈良エリア） 奈良県ホームページより